学校番号	１２０３

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「美術Ⅱ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術Ⅰで学んだ基礎を土台に、身の回りにあるものと美術との関連を意識した制作活動を行い、幅広い表現と鑑賞の能力を伸ばし、生活や社会の中の美術文化と豊かに関わる資質・能力を伸ばす。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動	ワークシート アイデアスケッチ 制作の過程 完成作品	制作の過程 完成作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	コラージュ	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・「喜怒哀楽」について考え、それぞれからイメージされる色を紙に塗る。 ・様々なアクリル絵の具の技法を用いて塗り重ね、色紙を作る。 ・目のデッサン ・色紙と目のデッサンを組み合わせてコラージュ	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:、テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心持ち、表現活動に主体的に取り組もうとしている。 b:感性や想像力を働かせ、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成して、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構成を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を理解し、様々技法に挑戦又は活用し、主題に適した表現をしている。 d: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り作品について理解を深めている。	学習活動の様子 制作の過程 作品
	動物オブジェ	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ 資料を参考に動物の正面、背面、側面、上面を描く。 ・制作 針金とトイレットペーパーで骨組みを作り、石塑粘土で動物を形成する。仕上げに銅箔シールを貼り付け、腐食液で表面を加工し、磨く。	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○	a:動物の形や動きを観察し、動物ならではの美しさや面白さを発見または考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:表現したい動物の動き、美しさなどから主題を生成し、オブジェの特性を考えて表現の構想を練っている。 c:粘土の特性や銅箔シールの効果を理解し、表現方法を工夫している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、動物の表現や動きについて関心を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

後期	箔押しと浮世絵模写	【絵画・彫刻】【デザイン】 【鑑賞】 ・箔押し パネルに水張りした黒画用紙にアルミ箔を6枚貼る。 破れ目や隙間を補修し、ドーサ液を塗る。 ・浮世絵模写 原画を選び色鉛筆で着彩。箔が乾いたらトーレース。 自分が考えた色、柄をアクリルガッシュで塗る。 最後に墨で骨描きする。 ・表装 作品を掛軸に仕立てる。 ・押印 名前をデザインしたゴム印を彫り、作品に押す。 ・相互鑑賞	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	○	a:日本の伝統的な美術文化や職人の技に興味・関心を持ち、良さや美しさを発見するとともに、表現や鑑賞に主体的に取り組む。 b:元の浮世絵からイメージを膨らませ、自ら創造した浮世絵人物像を表現するための構想を練っている。 自分の氏名からデザインを発想し、効果的に伝わるよう構想を練っている。 c:箔や絵の具など材料の特性を理解し、表現方法を工夫している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、浮世絵について理解を深めている。	制作の様子 作品 鑑賞活動の様子や発言

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。